

大塚だより

調布大塚小学校

学校と地域を結ぶ

「スクールサポート調布大塚」発足

副校長 東 みどり

本校は、読み聞かせ・お話の会・図書整理・花壇の保護者ボランティアやおやじの会の活動が定着しています。先月、各サークルの力を結集して、学校支援地域本部「スクールサポート調布大塚」が発足しました。学校支援地域本部は、地域の教育力を学校の教育活動に生かすことをねらいに、平成二十年度より文部科学省が推進しています。また、「おおた教育振興プラン」には平成二十五年度までに区立全小中学校での発足が明記されています。

「スクールサポート調布大塚」の代表は、調布大塚自治会の大口会長にお願いしました。PTAの吉村会長・武藤副会長・篠原調布大塚自治会青年部長の三名がコーディネーターとして、学校の依頼を受けて、支援の企画・調整を担ってくださいます。まさしく『地域につくられた学校の応援団』であり、学校の力強い味方です。より子どもたちの意欲や関心を引き出す教育活動が可能となります。

早速、先の学校公開では、コーディネーターに尽力を頂き、六年生のキャリア教育の授業を行いました。講師は、南極観測隊員として、調査研究に携わ



6月25日の北内先生の話

つた地元にお住まいの「独立法人 情報通信研究機構」の北内英章博士です。北内さんは子どもの頃、「世界のいろいろなところに行って仕事がいい」と思っていたそうです。高校二年生のとき、物理の先生と出会い、物事の真理を追究する物理の魅力を感じ、研究を仕事とすることにしました。研究をやり続けることで、一つでもわからないことがわかっていくことの楽しさを語り、継続することの大切さを子どもたちに訴えてくださいました。「なかなか知られていない職業があることを知るよい機会になりました。」、「観測船しらせは氷を砕いて進むから、ペンギンに船が追い越されるのに、とてもびつくりしました。」と六年生が感想を寄せるなど、貴重な学びができました。「スクールサポート調布大塚」の活動によって、学校と地域のより深いつながりと夢が広がることを感じます。

七月五日(水) 午前十一時より、小平第二中学校学校支援コーディネーターとして、多くの実践に取り

組まれている布昭子さんを講師に迎え、地域による学校支援の大切さやボランティアの心構え、学校家庭・地域のよりよい連携について学ぶ講演会を行います。ご参加をお待ちしております。

七月の行事予定

×：放課後遊びなし
 [s c]：スクールカウンセラー来校日
 ◎：校庭開放日

一日(金)	社会科見学(三年)
二日(土)	◎
三日(日)	◎
四日(月)	委員会活動
五日(火)	都学力向上調査(五年) [s c]
六日(水)	保護者会(五・六年)
七日(木)	英語活動・掃除なし時程
八日(金)	避難訓練 保護者会(三・四年) ◎
十日(日)	◎
十二日(火)	英語活動・学校保健委員会 [s c]
十三日(水)	◎
十四日(木)	◎
十七日(日)	◎
十八日(月)	海の日 ◎
十九日(火)	給食終
二十日(水)	終業式
九月一日(木)	始業式 × [s c]

夏季休業中の予定

夏季水泳教室

前期 7月21日(木)～8月4日(木)
 後期 8月22日(月)～8月30日(火)

お楽しみ教室

7月21日(木)～29日(金)
 8月29日(月)～30日(火)

全校登校日 8月25日(木)

盆踊り 7月30日(土) 31日(日)

ラジオ体操

8月22日(月)～8月26日(金)



魚つりゲーム

毎年、子どもたちがとても楽しみにしている行事の一つである子どもフェスティバル。今年も盛況のうちに幕を閉じました。

子どもフェスティバル

特活部 足立 絢子

六月十七日(金) 子どもフェスティバルが開催されました。十五日(水)のPR集会では、三年生以上の学年がクラスの催しを劇等に交え、楽しくアピールしました。集会の後、低学年の子どもたちが前日から、どこからいこうかなといった話をあちこちで見ることができました。

来るお客さんたちが、楽しめるようにと考えて準備を重ね、迎えた当日は、三年生が射的や、輪投げ、魚つりゲームができる「三十一祭り」、四年生が子どもたちのやる気・元気・勇気をうばった犯人を校内で探す「犯人をさがせ」、五年一組がクイズをときながら図書館いっばいの迷路を脱出する「脱出ゲーム(クイズめいろ)」、二組がクイズをときながら、様々な間を脱出していく「脱出ゲームS.U.P.E.R.」、六年生が体育館をまるごと恐怖の館に変身させた「地獄の果てまでいってQ」を主催しました。

一・二年生はペアを組んで次から次へと部屋を回り、上級生の説明をじっくり聞いて、ゲームに挑んでいました。三年生以上の子どもたちは、前半と後半に分かれ、他の学級の催しを楽しみました。楽しく過ごした後は、各学級で協力して片付けを行い、お昼にはいつもの学校に戻っていました。

プールがはじまりました。

体育部 本多 裕太

「泳げるようになったよ。」「水の中で目をあけることができるようになったよ。」今年も、子どもたちが楽しみにしているプールでの学習が始まりました。水泳は、水に触れて楽しむことはもちろん、いろいろな泳ぎ方を身につけたり、泳ぐ距離を伸ばしたりする楽しさや喜びを味わえるスポーツです。そのためにも一人一人が自分の目標をしっかりとつこうとが大切になってくると思います。子どもたちが、自分で立てた目標に向かって努力し、少しずつできるようになったという実感を味わうことで、より水泳が楽しくなることを願っています。

また、今年度より、大田区水泳技能検定表の一部に変更があります。子どもたちがより充実した水泳学習ができるよう本校でも取り組んでいきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

水泳学習には、もし、水の事故に遭遇したときに、自分の命を自分で守ることができるよう、方法を学ぶ機会もあります。その体験の一環として中・高学年は、着衣水泳を行います。また、海や川での安全な泳ぎ方の学級指導も行います。危険を予測し、自分で判断することを学んでほしいと思います。今年の夏も厳しい暑さになることが予想されます。子どもたちが楽しく水泳学習に取り組みますよう、ご家庭での健康管理を十分にしてください。目標に向かって頑張るお子さんに、励ましのお声をかけていただきたいと思います。安全で楽しい水泳指導ができるようご協力お願いいたします。

とろろ移動教室

六年担任 宮原 早苗

六月一日(水)から六月四日(土)、長野県東御市にあるとろろ休養村で移動教室がありました。広い敷地の中にあるきれいな宿舎で、楽しく充実した三泊四日を過ごしました。

今年は、二回目の移動教室ということもあり、移動教室委員になった

子どもたちを中心にしおりを作成し、子どもたち全員が、各係に分かれて様々な活動を計画し準備を進めました。

土器づくりの様子



バスレク・オリエンテーリング・ナイトハイク・スポーツタイム・キャンプファイヤーなど、どの活動もみんなが楽しめるように工夫し、進行も各係が主体的に行いました。

また、体験活動も木工クラフト(雨でハイキングができなかったため)・くるみ細工・縄文土器づくり・わら細工など意欲的に取り組み、素敵な作品を完成させました。

子どもたちは、この移動教室で「協力すること」、「責任をもって仕事をする事」、「感謝すること」など様々なことを学んだと思います。この経験をこれからの活動に生かし、ますます活躍することを期待したいと思います。